

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成23年12月22日(2011.12.22)

【公開番号】特開2010-129507(P2010-129507A)

【公開日】平成22年6月10日(2010.6.10)

【年通号数】公開・登録公報2010-023

【出願番号】特願2008-306169(P2008-306169)

【国際特許分類】

F 21 V 3/04 (2006.01)

F 21 S 2/00 (2006.01)

F 21 V 3/02 (2006.01)

F 21 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 21 V 3/04

F 21 S 2/00 2 3 0

F 21 V 3/02 2 0 0

F 21 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月4日(2011.11.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

LED光源を有し、蛍光灯型照明器具又はライン照明器具に使用される照明器具であって、該照明器具の照射側に、少なくとも片面に特定の凹凸形状を有する光透過性パネルが光源に対向するように配置されており、該光透過性パネルの凹凸形状の平均波長( $a$ )は $1\text{ }\mu\text{m}\sim100\text{ }\mu\text{m}$ であることを特徴とする照明器具。

【請求項2】

前記光透過性パネルは、凹凸形状面に垂直に光線を入射した場合の透過拡散光の拡散角度が $50^\circ$ 以上 $110^\circ$ 以下であることを特徴とする請求項1に記載の照明器具。

【請求項3】

前記凹凸形状は、高さ及びピッチが不規則であることを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の照明器具。

【請求項4】

LED光源の間隔をP、LED光源と光透過性パネルの間隔をHとした場合のP/Hが0.1以上10以下であることを特徴とする請求項1から請求項3のいずれかに記載の照明器具。

【請求項5】

LED光源上の輝度をA、LED光源とLED光源の間の輝度をBとした場合のA/Bが1.20以下であることを特徴とする請求項1から請求項4のいずれかに記載の照明器具。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0007】

即ち、本発明の照明器具は、L E D光源を有し、蛍光灯型照明器具又はライン照明器具に使用される照明器具であって、該照明器具の照射側に、少なくとも片面に特定の凹凸形状を有する光透過性パネルが光源に対向するように配置されており、該光透過性パネルの凹凸形状の平均波長(  $a$  )は  $1 \mu m \sim 100 \mu m$  であることを特徴とする。

## 【手続補正3】

## 【補正対象書類名】明細書

## 【補正対象項目名】0008

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0008】

本発明は、上記照明器具において、前記光透過性パネルは、凹凸形状面に垂直に光線を入射した場合の透過拡散光の拡散角度が  $50^\circ$  以上  $110^\circ$  以下であることが好ましい。

また本発明は、上記照明器具において、前記凹凸形状は、高さ及びピッチが不規則であることが好ましい。